

千葉県中小企業団体中央会 会長

平 栄 三



明けましておめでとうございませす。会員の皆様には、希望あふれる爽やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年の我が国経済は、上場企業は過去最高の利益を挙げるなど、緩やかな景気回復の傾向にあると言われていましたが、多くの中小企業はその実感を得られなまま、人手不足の深刻化、経営者の高齢化、地域の疲弊、頻発する自然災害など多くの課題を抱え、厳しい状況が続きました。また、世界に目を向けますと、社会や経済を揺るがしかねない諸問題が山積しており、国内外を問わず先行きへの不透明感は依然として増すばかりとなっております。また、大手自動車メーカーや素材企

業の不正問題で我が国の製造業が築いてきた製品への信頼が揺らいでおり、経営者は規範への厳格さの徹底を再認識する一年となりました。

その一方で、明るい話題としては、開催まで3年を切った2020年東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げようと、昨年7月、本会を含む県内6つの経済団体が「みんなで応援！千葉県経済団体協議会」を設立しました。今後、各団体と会員企業が一体となり、街の美化活動やスポーツ体験を行うなど、大会への機運を高め、地域活性化に繋がることを期待しているところです。

近年、我々中小企業が直面している大きな課題としては人手不足と事業承継があります。人手不足については、少子化による人口減少という構造的要因が大きいと考えられますので、企業は生産性の向上を図るとともに、女性や高齢者等多様な人材が最大限能力を発揮できるよう、働き方改革や職場環境の整備を進め、企業の魅力を高めることが肝要であります。また、事業承継については、経済産業省の分析では現状で中小企業127万社で後継者不在の状態にあります。成長力のある中小企業の廃

業は我が国の産業基盤を弱めかねず、地方経済の活性化のためにも、後継者の確保や早めの事業の引継ぎをしやすいする必要があります。

こうした状況の中、政府は、経営者の高齢化、IT導入の遅れ、人材不足等を克服するため、事業承継・再編・統合、IT導入支援、人材不足対応について重点的に取り組むこととしております。さらに、平成30年度税制改正で、中小企業の事業承継を力強く後押しするため、事業承継の際の贈与税・相続税の負担を軽減する「事業承継税制」を今後10年間に限って大きく拡充することとなりましたので、前向きな活用が望まれるところです。

本会といたしましても、国や県等が実施する中小企業のニーズに即した支援策を積極的に取り入れ、県内中小企業の創業・起業や組合を通じた組合員企業の経営改善の策定等への支援を実施して参る所存です。

結びに、会員組合の皆様におかれましては、組合組織を中心に一層の団結を強め、この厳しい状況を克服し、さらなるご繁栄を遂げられますよう心からご祈念申し上げます。年頭の挨拶といたします。



千葉県知事

森田 健作

明けましておめでとございます。

千葉県中小企業団体中央会並びに会員企業の皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、皆様には、日ごろから本県経済の活性化や地域振興に御理解、御協力をいただいておりますことに、厚く御礼申し上げます。

県では、平成32年度までの4年間に重点的に取り組む政策・施策を取りまとめた新総合計画「次世代への飛躍 輝け！ちば元氣プラン」を策定し、更なる飛躍に向けた一歩を踏み出しました。

この計画のもと、未来の千葉を担う次世代を見据え、人口減少、少子高齢化などの課題に対応するとともに、千葉県ならではの強みを生かした交流基盤・ネットワー

クの整備活用や更なる魅力の発信など、横断的な視点を持つて施策を展開してまいります。

社会基盤の整備では、成田空港の更なる機能強化について、関係機関と連携して、地域の意見を真摯にお聞きしながら、検討を進めるとともに、首都圏中央連絡自動車道（圏央道）の平成36年度の全線開通や北千葉道路の未事業化区間の早期事業化に向けてしっかりと取り組んでまいります。

県経済の活性化については、「第4次ちば中小企業元氣戦略」を策定し、小規模企業振興を重要な柱と位置付けるなど、中小企業に向けた施策の充実を図ってまいります。また、茂原市と袖ヶ浦市の2つの工業団地への立地促進や、空き公共施設等を活用した取組みなどにより、戦略的な企業誘致を推進してまいります。さらに、働き方改革や女性活躍の推進など「経済の活性化を支える人づくり」に向けた取組みも進めていきます。

また、より一層、千葉の旅を楽しんでいただけるよう、引き続き観光公衆トイレの整備を進めるとともに、本県を訪れていただいた方々に、笑顔でおもてなしの気持ちを伝える取組みをオール千葉で進め、本県の魅力を一層高めてまいります。

2年後の2020年夏に開催さ

れる東京オリンピック・パラリンピックに向け、今年はいくまでの取組みをさらに発展させていく年となります。

7競技が実施される幕張メッセの大規模改修を引き続き着実に進めるとともに、サーフィン会場となる一宮町釣ヶ崎海岸において、オリンピック後の活用も見据えた自然公園の整備を本格化させてまいります。

また、カウントダウンイベントなどを通じて高まった大会への期待感を、市町村、経済界、大学、競技団体との連携の下、大会に向けた機運の盛り上がりにつなげてまいります。

今年は、4回目となる「ちばアクトアラインマラソン2018」を10月21日に開催いたします。国内外のランナーや応援客の皆様は「千葉にまた来たい！」と思っただけでよい、日本一のおもてなしの心でお迎えします。

次世代を担う子どもたちが誇れるような光り輝く千葉県へさらに飛躍するため、本年も全力で取り組んでまいります。

結びに、千葉県中小企業団体中央会のみならずの御発展と、会員企業の皆様の御活躍をお祈り申し上げます。

全国中小企業団体中央会 会長

大村 功作



明けましておめでとございます。

平成30年の新春を迎え、年頭に当たりまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年も全国各地で自然災害が多発しました。被災された皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。

我が国経済は、これまでのアベノミクスの効果により経済の好循環が確実に回りはじめ、景気回復基調にあると言われていますが、地域や業種、事業者の規模によって景況感のばらつきがあり、中小企業・小規模事業者の多くはその実感を得られておりません。加えて、深刻化する人手不足や後継者難、地域の疲弊、頻発する自然災

害など、厳しい事業環境にあり、その対応に苦慮しております。

このような状況の中で、地域の経済・雇用を支える我々中小企業・小規模事業者は、経営基盤を強化し持続的な成長に向けて、更なる生産性の向上が求められています。そのためには個々の努力とともに、連携・組織化による取組みが一層肝要であると考えます。

こうした中、昨年10月26日に長野県松本市で開催しました第69回中小企業団体全国大会には、全国各地から中小企業団体の関係者2,500名が参集し、「団結は力見せよう組合の底力！」地方創成は連携による地域力アップと強力な発信をスローガンに、約27,000の中小企業組合等の総意を取りまとめ、その実現に向けて、共に取り組むことを決議しました。

全国中小企業団体中央会として、中小企業組合等連携組織の専門支援機関として、組合等の連携組織が持っている企業同士の「つながる力」を大いに発揮し、IT利活用、人手不足と事業承継を見据えた人材育成などをはじめと

する積極的かつ多面的な支援により、我が国経済及び中小企業・小規模事業者に持続的な成長に寄与すべく活動を展開してまいります。特に、経営力強化・生産性向上、事業承継、働き方改革、消費増税、災害復旧・復興などの重要テーマにつきましては、皆様のより一層のご支援ご協力を賜りながら適切に対応してまいりたいと存じますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年が中小企業組合と中小企業・小規模事業者の皆様にとって、更なる飛躍の1年となります。心よりご祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

平成30年元旦



株式会社商工組合中央金庫
千葉支店長

中島 秀記

平成30年の新春を迎えるにあたり、所感の一端を申し述べて年頭のご挨拶とさせていただきます。

まず、当金庫の危機対応業務の不正行為事案につきまして、国民の皆さまをはじめ、お取引先や株主の皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしておりますことを深くお詫び申し上げます。

危機対応業務の要件確認にあたって必要となる書類を改ざんする等の不正行為が広範に発生しただけでなく、その他の業務においても不適切な事案があったことにより、平成29年5月および10月の二度にわたり行政処分を受けました。今回の事態は、組織の信頼を根底から揺るがす重大な事態であり、真に厳粛に受け止めておりま

す。当金庫は、二度とこのような事態を発生させることのないよう、ガバナンス態勢の強化やコンプライアンスの立て直しなど、再発防止策の着実な実施に、役職員一丸となって全力で取り組んでまいります。

中小企業の景況感は持ち直しの動きがみられますが、非製造業を中心に人手不足感は強まっております。コスト上昇への懸念が高まっております。また、将来的には人口減少時代の本格到来やグローバル化の一層の進展が見込まれ、中小企業の経営ニーズは、一層高度化・多様化することが考えられます。

こうした環境において、業績や資金繰りに影響が生じている中小企業の皆さまからのご相談に対しては、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組んでまいります。

成長支援については、生産性向上を目的とした設備投資、集約化等の事業再構築、人手不足への対応等に関するニーズが見込まれる中、「適時適切な成長資金の供給」、「地域金融機関と連携したリスクマネーの供給」、「海外展開支援」、

「M&Aや事業承継支援」、「ビジネスマッチング」等への取組みにより、中小企業の皆さまの多様なニーズへの対応を強化してまいります。

さらに、再生支援については、地域金融機関や各支援機関との連携により、経営改善計画の策定支援やそのフォロー、抜本的な再生支援、金融取引の正常化支援等に取り組んでまいります。

これら取組みに加え、真にお客様本位の業務運営を徹底するため抜本的な業務改革を実施し、当金庫の使命である中小企業と中小企業組合の持続的成長とそれを通じた地域経済の活性化に貢献してまいります。

「中小企業による、中小企業のための金融機関」として、再び皆さまから信頼され、お役に立てるよう、役職員一同、全力で努力を続けてまいりますので、今後とも格別のご指導とお引き立てを賜わりますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

テーマ

地域活性化・地域社会への貢献

地元工務店等が組合を結成し、新築住宅を受注する取組み 安芸高田市ブランド住宅事業協同組合

大手ハウスメーカーの持つ総合力を地元の異業種からなる事業者による組合方式で実現・担保することで、顧客の安心を得ることが受注に繋がった。また、地域の行政課題解決にも地域事情に精通した者であるからこそ実現できた。

背景と目的

数年前まで安芸高田市では、住宅建築の約9割を大手ハウスメーカーが独占しており、市内の住宅関連業者の仕事量は激減し、地域経済に深刻な影響を及ぼしていた。そこで、安芸高田市内の住宅関連業者等が集結し、互いに研鑽、協力しあい、地域の特性を生かした安心・高品質な住宅を建築することと、市内事業者で仕事を受注できるように仕組みを構築することとを目的に事業協同組合を設立した。

事業・活動の内容と手法

安芸高田市内の中小の工務店

建設業者が集結し、協同組合として住宅建築に携わること、大手ハウスメーカーに対抗することが可能となった。安芸高田市は広島県北部に位置し、山に囲まれ自然豊かである一方で、冬は気温が低く、雪にも覆われることが多い。地元の住宅関連業者の集まりであるだけに地域の風土や気候にあった住宅建築を実現できるポテンシャルを持つていた。

まず、顧客に対して、地元工務店でも安心して住宅建築を依頼することができるというイメージを持つてもらおうことを最優先目標として、組合の検査規約に基づき、品質監査、完成検査を実施することと、長期優良であることをPRし、完成後は地元の工務店が長期にわたってその家を見守っていく役割を果たすなど、アフターサービスにも力を入れ、大手ハウスメーカーに負けないサービスを提供できる体制を順次整えていった。

成果

安芸高田市の風土、気候にあっ

平成24年には、組合のブランド住宅である「檜の香の家」が「地域型住宅グリーン化事業」の採択を受け、平成26年には新たに不動産事業を追加し、組合で宅地建物取引業の免許を取得。平成27年に安芸高田市の遊休地を組合で購入し、組合専用団地「咲くら」として開発、販売。新築住宅、団地の購入には安芸高田市の補助金「住めぐる補助金」が適用され、全6区画の分譲が平成28年11月時点で1区画を残すのみとなるなど、好調な売れ行きを見せている。土地分譲から住宅建築販売、アフターメンテナンス等、地元ならではの事業者として行政との密接な連携が図れた。



安芸高田市ブランド住宅「咲くら」

た住宅建築を実現すること、組合の検査規約による品質監査、完成検査等を十分に実施することで、顧客の地元工務店に対する信頼、イメージが向上。組合設立前より地元の事業者による新築住宅受注件数は伸び、長期優良住宅やゼロ・エネルギー住宅等省エネ住宅の施工実績を持つ会社は1社から4社へと伸長した。



定住省エネチラシ

安芸高田市ブランド住宅事業協同組合

住所：〒731-0501
広島県安芸高田市
吉田町吉田979-2
設立：平成24年2月
出資金：2,040千円
電話：0826-42-1255
URL：http://www.akitakata-brd.com/
業種：建築業
組合員：41人

このコーナーでは、連携組織の活性化に意欲的に取り組む県内の組合事例等をご紹介します！

事業の概要

補助事業名	平成28年度連携組織活性化研究会			
対象組合等	茂原卸商業団地協同組合			
	▼組合データ			
	理事長	秋葉 吉秋	住所	茂原市小林 1978-8
	設立	昭和 51 年 3 月	業種	卸売業中心の異業種
	組合員	13人		
テーマ	ホームページリニューアルプロジェクト			
担当部署	千葉県中小企業団体中央会 工業連携支援部 (Tel 043-306-2427)			
専門家	株式会社マックス ディレクター 松下 静			

新たな挑戦に向けて

茂原卸商業団地協同組合(以下、「もばらオロシテイ」という)にて、平成28年5月から平成29年2月までに全9回のホームページ作成勉強会を開催しました。「ホームページリニューアルプロジェクト」と題した勉強会では、ホームページがどのような役割を果たすものであるか、またどのように運用されることを目標とするかなどをインターネット/パソコンの知識を含めて研究し、その結果を実際に盛り込んだホームページを作成するプロジェクトです。

もばらオロシテイではすでにホームページを開設しており、これまでも組合員の情報発信がされてきました。しかしインターネットの活用は常に進化を続けています。近年、スマートフォンやタブレットなどのデバイスが急激に普及したことから、職場ではパソコンを使うが、日常の中で情報を集める時にはスマートフォンでホームページを閲覧する方も多く、若い世代ではパソコン離れが始まっているとも言われています。事業情報はビジネスの現場に

いる方に向けた「見やすさ」「活用のしやすさ」を目的に情報掲載を継続しつつ、これまでになかったスマートフォンに適した閲覧環境を整理。それによって地域の方により親しみを持っていただき、卸商業団地を知っていただくホームページ作りが新たなチャレンジとなりました。

事業の活動内容

誰に・何を・どのように？

ベースとなるコンセプトを見つけて出すため、次のリストから意見交換をはじめました。

- ・ 誰に向けた情報発信か
 - ・ ホームページの役割(ブランディング/認知度UP/事業者情報の発信)
 - ・ もばらオロシテイのイメージ
 - ・ 活動の報告/告知
 - ・ ホームページのメリット
 - ・ 情報の更新頻度 他
- これまでにホームページを運用して分かったことや感じたことを話し合い、問題点/改良点を提起。その中でも注目すべきポイントは独自ホームページを開設している事業者はアクセスアップのため、

もばらオロシテイホームページからの誘導を希望していること。それと同時に独自ホームページを持たない事業者は、もばらオロシテイホームページで有益な情報を発信することを希望しているということでした。

第一回の勉強会は、積極的な意見交換による現状把握。またデザインを作り変えるだけのリニューアルではなく、何を配信するべきなのかという課題を挙げることでできるものとなりました。

構成の具体化

ユーザーの気持ちで他の団体ホームページを見て、良い点/悪い点を意見交換。

- ・ 名称の見やすさ
- ・ トップページのイメージ
- ・ ナビゲーションの分かりやすさ
- ・ お知らせのわかりやすさ
- ・ 目にとまりやすい魅力的なお知らせの表示になっているか

など管理者の目線だけではなく、ユーザーの気持ちと合わせてホームページを見ることで、情報の引き出しやすさの工夫や個性を出す方法の具体的なアイデアが浮かび上がってきます。まず掲載する情報を一旦書き出します。

・組合について（ごあいさつ、概要、沿革、組織図、活動）・施設案内（アクセスマップ、配置図、会館の貸出案内）・組合員情報・お知らせ・求人情報・お問い合わせ・個人情報保護方針・関連リンク集・SNS（Facebook）

これらの一つ一つを吟味して掲載の有無やボリュームを把握していきます。

この書き出しはさらに、もばらオロシティの個性的な要素を見つけ出すのにも役立ちました。

もばらオロシティでは会館をレンタルスペースとして貸し出ししており、また卸商業団地という特性を活かした仕出しやお弁当の対応が出来るという点が、これまでのホームページでは情報配信が弱くなっていったのです。これまでターゲットユーザーは卸業者を利用する方であり、情報も事業情報が大部分を占めていましたが、レンタルスペースは近隣の方が自由な発想で利用することができる要素です。その情報発信を強化することでより多くの新しいユーザーをターゲットとすることが出来ます。

また、もばらオロシティのホー

ムページが組合員様にとって有益なものとなる工夫として、求人情報の掲載、事業情報のPDF化（プリントしても使える）という具体的なアイデアについても話し合いが進みました。

完成を目指した研究会

構成の面からも各回にテーマを設定した表現について話し合いと研究を重ねました。

- ・トップページ構成とデザイン
- ・トップページデザイン校正／各事業者の掲載情報確認とその他のページでの写真等素材確認
- ・プロジェクトを使ったテストサイトの閲覧・確認
- ・掲載内容の収集状況／ホームページ制作状況／更新作業の手順
- ・ドメイン／メール
- ・本サーバでのテスト／サイトを有効に活用するため
- ・まとめと将来への展開

事業の成果

全9回の研究会をホームページ作成工程の一例として見た時、前記の内容からも見えてくるのは、ホームページ作成の肝となるのは

始めの構成「現状の把握と情報の整理であるということ」です。デザイン性やイメージに捕らわれやすい傾向が多く見られますが、掲載内容の話し合いがしっかりと行われることで将来の展開に期待できる仕上がりとなることでしょう。

また最も労力を必要とする箇所は掲載情報の収集です。そのためスケジューリング管理とは役割を分けることで、ホームページはスムーズに作成することができるようになります。

このプロジェクトが多くの方にとって、既存のホームページがどのような働きをしているか、良い点／悪い点を見直し、ユーザーの目線となって何を配信すべきかチェックしてみるきっかけとなることを願います。

もうひとつの勉強会

勉強会ではホームページ作成の内容だけでなく、インターネットやパソコンに関する勉強も行いました。

- ・パンダアップデート／Flash Playerゼロデイ脆弱性
- ・無線LANとWi-Fi／プロバイ

データとホスティングサーバー／クローラー
・HTML／META／SEO・SNS
・メールのビジネスマナー（特殊文字、添付ファイルサイズ、ウィルス対策）

この中でも最も関心が集まったのは「ウイルス」に関連する内容でした。ウイルスを防ぐため、広げないための知識と対策。あるいは既に増えてしまった迷惑メールの対処法等、実際にパソコンを持参して設定の確認を行う方もいました。「気にはなっているがそのままにしている」という方もたくさんいる事でしょう。今回の企画をきっかけに、設定の再確認や今後の課題を明確にして定期的な見直しを行っていただきたいと思います。

私自身、日々進化し続けているインターネットという文化に振り回されないためにも、コントロールできる知識は共有し、学び続けることの大切さを常に意識したいと思います。

（松下 静）

<p>千葉県醤油工業（協） 代表理事 山本 一郎</p>	<p>千葉県石油（協） 理事長 安藤 順夫</p>	<p>関東自動車共済（協） 代表理事 小長谷政幸</p>	<p>船橋青果卸売（協） 理事長 平 栄三</p>	<p>千葉県製麺工業（協） 代表理事 門田慎太郎</p>
<p>千葉県遊技業（協） 理事長 田中 幸也</p>	<p>千葉県自転車軽自動車商（協） 代表理事 山口 道博</p>	<p>千葉総合卸商業団地（協） 代表理事 石田一太郎</p>	<p>千葉県コンクリート製品（協） 理事長 保美 善和</p>	<p>千葉振興建設業（協） 代表理事 船越 博文</p>
<p>千葉船業（協） 代表理事 田原 安</p>	<p>千葉県生コンクリート工業組合 理事長 鈴木 実</p>	<p>千葉化学工業薬品（協） 代表理事 岡田 隆治</p>	<p>千葉県建設防水工事業（協） 理事長 糠信 雄司</p>	<p>千葉県産業廃棄物処理業（協） 理事長 小出 英昭</p>
<p>（協）千葉県鐵骨工業会 代表理事 栗原 宏</p>	<p>千葉県セメント卸（協） 代表理事 矢島 一郎</p>	<p>富津市環境清掃（協） 代表理事 吉原 健</p>	<p>千葉県測量設計補償（協） 代表理事 石塚 修</p>	<p>千葉市廃棄物リサイクル事業（協） 代表理事 飯田 俊夫</p>

<p>千葉青果卸売 (協) 代表理事</p> <p>飯塚真太郎</p>	<p>千葉青果卸売 (協) 代表理事</p> <p>本山 昭児</p>	<p>千葉市工業センター (協) 代表理事</p> <p>飯村 明義</p>	<p>千葉鉄工業団地 (協) 代表理事</p> <p>熊谷 正喜</p>
<p>野田工業団地 (協) 代表理事</p> <p>早川 秀治</p>	<p>浦安魚市場 (協) 理事長</p> <p>長野 敦彦</p>	<p>野田市中里排水処理 (協) 理事長</p> <p>越部 圓</p>	<p>千葉青果商業 (協) 代表理事</p> <p>上野 宏幸</p>
<p>千葉県室内裝飾事業 (協) 理事長</p> <p>藤間 健史</p>	<p>千葉県設備協会 (協) 理事長</p> <p>池田 潔</p>	<p>千葉県貿易 (協) 代表理事</p> <p>清水 克己</p>	<p>八千代市管工事 (協) 代表理事</p> <p>石上 久男</p>
<p>送変電機器千葉 (協) 代表理事</p> <p>菊池 康文</p>	<p>千葉市管工事 (協) 代表理事</p> <p>半田 洋一</p>	<p>船橋機械金属工業 (協) 代表理事</p> <p>板谷 直正</p>	<p>千葉港港湾運送事業 (協) 理事長</p> <p>宮本 和也</p>
<p>千葉学習塾 (協) 代表理事</p> <p>佐久田昌知</p>	<p>千葉県消防設備 (協) 代表理事</p> <p>中村 一雄</p>	<p>船橋総合卸商業団地 (協) 代表理事</p> <p>飯ヶ谷岐美夫</p>	

<p>ふなばしインタックス(協) 代表理事 篠原 敬治</p>	<p>松戸ビル管理業(協) 代表理事 関 和秀</p>	<p>野田市再資源化事業(協) 代表理事 西村 久行</p>	<p>柏駅前第一商業(協) 代表理事 寺嶋 憲夫</p>	<p>千葉県学校給食パン・米飯(協) 代表理事 川島 弘士</p>
<p>柏市工業団地(協) 代表理事 藤井 秀美</p>	<p>流山トラック事業(協) 代表理事 小倉 信一</p>	<p>流山工業団地(協) 代表理事 菊地 憲悦</p>	<p>浦安建設(協) 代表理事 鹿野新一郎</p>	<p>千葉県税理士(協) 代表理事 花嶋 実</p>
<p>野田市商業(協) 代表理事 木名瀬好二</p>	<p>浦安市リサイクル資源(協) 代表理事 醍醐 辰雄</p>	<p>印旛食肉センター事業(協) 代表理事 小川 進</p>	<p>臼井ショッピングセンター(協) 代表理事 鳥羽 敏彦</p>	<p>四街道工業団地(協) 代表理事 清水 敬陽</p>
<p>(協)酒々井ショッピングセンター 代表理事 細谷 篤</p>	<p>(協)佐原信販 代表理事 小松 裕幸</p>	<p>千葉県木材市場(協) 代表理事 吉岡 實</p>	<p>(協)東金ショッピングセンター 代表理事 中村 秀朗</p>	<p>山武管工事業(協) 代表理事 小松 隆弘</p>

<p>千葉県漬物工業（協） 代表理事</p> <p>古宮 真一</p>	<p>千葉県酒造（協） 代表理事</p> <p>大塚 完</p>	<p>大原中央商店街（協） 代表理事</p> <p>芝野 明</p>	<p>長生都市管工事（協） 代表理事</p> <p>内山 邦俊</p>	<p>海匠ガス事業（協） 代表理事</p> <p>佐藤 衛</p>
<p>千葉県板金工業組合 代表理事</p> <p>森川 文明</p>	<p>千葉県電機商業組合 代表理事</p> <p>佐々木 義</p>	<p>柏市廃棄物処理業（協業） 代表理事</p> <p>鈴木 隆</p>	<p>千葉県建設業（協）連合会 理事長</p> <p>石井 良典</p>	<p>千葉県医薬品卸（協） 理事長</p> <p>岩渕 明弘</p>
<p>栄町衣料（協） 代表理事</p> <p>小川 優</p>	<p>（振興）柏二番街商店会 代表理事</p> <p>石戸新一郎</p>	<p>千葉県中古自動車販売商工組合 代表理事</p> <p>千崎 悟之</p>	<p>千葉県鍍金工業組合 代表理事</p> <p>福井 順子</p>	<p>習志野市造園工事業（協） 代表理事</p> <p>芦田 松昭</p>
<p>千葉県中小企業団体青年中央会 代表幹事</p> <p>富田 一郎</p>	<p>千葉県異業種交流融合化協議会 会長</p> <p>松延 俊美</p>	<p>千葉県官公需適格組合 受注促進協議会 会長</p> <p>中嶋 敏夫</p>	<p>千葉県自動車販売店協会 会長</p> <p>出野 祥平</p>	<p>千葉県中部山砂事業（協） 代表理事</p> <p>棚倉 英雄</p>

情報連絡員報告を中心とした
県内の中小企業動向（11月）

製造業

【酒類製造】 【県内全域】

10月売上は前年比増加した。（2カ月連続）また、前年同月比は減少となった。

製材

【県内全域】

徐々に価格の上昇が見え始めてきたようだが、景況は好転しているように感じない。

製材

【木更津】

11月入港実績なし。在庫数量は減少している。

印刷

【県内全域】

業界の変化について、1. 業界は低迷が続いている。2. 印刷用紙の値上げあり。

電気鍍金業

【県内全域】

得意先の状況にもよるが、一向に良くならない。

鉄工

【千葉】

業種によるバラツキはあるが、景況感は総体的に良好。受注堅調なるも人手不足から生産体制の維持に苦慮している企業が多い。対策として省力化の設備投資を検討している企業が増えている。

機械部品製造

【野田】

前月比売上減だが、収益は改善している。付加価値が高い商品が売れている。

全体的に景況が上向いている感がある。

機械部品製造

【流山】

年末に向けて少しは、景況は良いようである。原油価格が、上昇してきており、影響が出そうである。

金属製品製造

【船橋】

業績は向上しているが、人手不足で厳しい。

採石

【県内全域】

横浜市南本牧での硬石砂岩の出荷が見られたが、小池都知事が誕生してから今日まで東京都の港湾関係の出荷はなし。

土採取業

【県内全域】

前月同様、特需は感じられない。最低状況は脱した感はあるとの報告や山砂の特需は少しずつであるが増えてきているところであるが、反面、依然として、地域によって洗砂・山砂ともに需要が低調であるとの報告や収益状況の悪化、設備稼働度の低下等の報告がある。

告がある。

非製造業

【総合卸売】 【千葉県・東京都】

【米等卸】 業務用米の物流

量減少により仕入価格上昇。家庭用米も上昇しており、量的確保と資金繰りに影響が出る懸念が出てきている。

【リサイクル卸売】 【県内全域】

中国向け輸出動向に不確定な部分が多く、国内市況に影響が出ている。

【建築材料卸売】 【県内全域】

全国や他の地域に展開している組合員は景気の底入れ感を肌で感じているが、千葉だけ厳しい状況が続いている。

【自動車解体】 【県内全域】

10月に下落したスクラップ価格が11月には下落前の水準に戻った。また、取り扱いボリュームを確保できている会社は悪くない状況であると思うが、ボリュームを確保できない会社との差が大きい。

【乾物卸売】 【県内全域】

景況の変化について、多少上向き傾向にある。

【青果小売】 【千葉市】

売上が前月より増加したの

は先月より入荷が安定せず、高値相場となっているため、取引条件はかなり悪い方向に向かっている。このままでは年末の繁盛期に不安を残す。

【小売】 【東金】

ファッション関連は、下降傾向が続いている。食品関係は、持ち直しつつある。飲食は、客数が減少傾向。文化用品、日用雑貨は、若干動きが出てきた感がある。

小売

【野田】

相変わらず消費者の節約志向を強く感じる。

青果小売

【松戸】

年末に向けて野菜の値上がりが始まったようです。

小売・サービス

【柏】

周辺に食品スーパーやショッピングセンターが1、2年前より多く出店してきたことが、じわじわと効いてきている感が強い。最寄り品以外の買回り品は特に影響が出ている。去年もそうであったが12月は頭一つ売り上げが伸びるが全く平月と変わらなくなってきたので不安だ。

遊覧船

【鴨川】

天候に左右される商売の為、天候が悪かった秋でした。

一般廃棄物処理

【千葉】

前月比では売上は減少となりましたが、例年並みの結果となりました。繁忙期の12月に向けて良い状況であると思っています。

建設

【県内全域】

組合員による11月の県内公共工事の落札結果は、200件10,374百万円となった。件数では前月比△19件だが、落札額では4,465百万円の増加となった。また前年同月比でも、プラス2,159百万円の増加となっている。しかしながら10月までの累計では1,822件71,982百万円の落札額となり、前年同期比では△15,632百万円の減少となっている。

建物サービス

【県内全域】

昨年度よりも稼働率が上昇し、収益が見込めた。

貨物運送

【野田】

年末に向かいよいよ車両が不足の時期がやってきました。

中央会の主な事業等活動予定（1月）

平成29年12月7日現在

月日	曜日	内 容	担当部署
■ 中小企業連携組織対策事業			
1/15	月	組合等新分野開拓支援事業 対象：(振興) 柏二番街商店会	商業連携支援部 ☎ 043・306・3284
1/19	金	組合決算講習会	設立支援部 ☎ 043・306・3285
1/23	火	組合等新分野開拓支援事業 対象：千葉県測量設計補償（協）	工業連携支援部 ☎ 043・306・2427
■ 組合等基盤強化事業			
1/16	火	創業・連携推進事業（組合制度普及講習会） 対象：勝浦朝市組織改革検討委員会	設立支援部
1/19	金	官公需普及促進懇談会	商業連携支援部
■ 団体等運営支援事業			
1/16	火	千葉県中小企業団体事務局責任者協会 役員会・監事会	経営支援部 ☎ 043・306・3282
1/20	土	千葉県中小企業団体青年中央会 県大会	工業連携支援部
■ その他			
1/26	金	平成29年度第2回正副会長会議	総務部 ☎ 043・306・3281
		平成29年度第2回理事会	総務部
		平成30年中小企業団体千葉県新春交流会	総務部



千葉県中小企業団体中央会

平成30年 中小企業団体千葉県新春交流会

平成30年1月26日（金）15:30～18:00

会場 **ホテルニューオータニ幕張 千葉県美浜区ひび野 2-120-3**

本交流会は、中小企業組合活動に多大な功績を挙げられた方々をお祝い申し上げますとともに、新年に対する抱負等をご歓談いただき、会員皆様の相互交流を深めていただくために開催するものです。つきましては、会員皆さまに多数ご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

◎お問合せは本会総務部まで（TEL 043-306-3281）

平成30年 中小企業団体千葉県
新春交流会 お待ちしております

本会では、平成30年の新春を迎えるにあたり、中小企業組合活動に多大なご功績を挙げられた方々をお祝い申し上げますとともに、新年に対する抱負等をご歓談いただき、会員並びに関係各位との相互交流を深めていただくために標記交流会を開催致します。

1月26日(金)は、県内すべての会員組合・中小企業団体の関係者に多数お集まりいただき、皆さまの有益な情報交換による人的ネットワークの形成にお役立ていただくとともに、「中小企業組合活動ここにあり!」という存在感を内外に向けて発信する機会にしたいと存じます。

当日は、皆さまのご来場を心よりお待ちしております。

【開催日時】平成30年1月26日(金) 15時30分～18時

【開催場所】ホテルニューオータニ 幕張 2階「鶴」(千葉市美浜区 ひび野2-120-3)

【参加費】お一人5千円

◎お問合せは本会総務部まで。

☎0433・3066・32881

困ったときはすぐ相談を

千葉県消費者センター

「無料点検に応じたら高額なりリフォーム工事を契約することになってしまった」「有料サイトの利用料が未納となつているとのメールが来た」「一人暮らしの母 親宅を訪ねたら、大量の健康食品を購入していることがわかった」
こんな消費者トラブルに遭つたときは、県消費者センターまで!

☎047(434)0999

受付時間:月～金曜日9時～16時30分、土曜日9時～16時

休館日:日曜、祝日及び振替休日、年末年始

*お住いの市町村でも消費生活相談を受け付けています。局番なしの「188」まで。お近くの消費生活相談窓口につながります。

◎無料で講師を派遣します。

消費者から信頼を得る事業活動のご参考に、また、消費者被害防止のための社員研修として、講師派遣制度をご利用ください。消費生活相談員が、業種特有の制度やよく寄せられる相談、ト

ラブル対処法などを交え、わかりやすく解説します。(問合せ:047(431)3811)

「食と健康ワンポイント」

お酒は適量を守って

年末・年始は、お酒を飲む機会が多くなります。適量のお酒は、食欲を増進させる、疲労回復やストレスの解消に役立つ、対人関係を良くする上で役立つなどの効果があります。

しかし、一度に多く飲むと急性アルコール中毒になるほか、長期にわたって飲み過ぎると肝疾患や心疾患、糖尿病、高血圧、胃潰瘍、精神疾患などの原因になります。

また、未成年者の身体や精神、妊娠中の女性の胎児などに悪影響を及ぼします。

適度な飲酒の量は、アルコールに換算して20グラムです。ビール中びん1本(500ml)、日本酒1合(180ml)、ウイスキーダブル1杯(60ml)、焼酎(25度)0.6合(約110ml)程度です。

個人差がありますが、多くてもこの倍を超えないようにしま

しょう。

体に優しく飲む

1. お酒は、食事やつまみと一緒によつくり飲む
2. つまみは栄養のバランスを考えて食べる
3. 揚げ物など油(脂)の取り過ぎに注意する
4. 女性や高齢者は、飲み過ぎに注意し控えめにする
5. 妊娠中や授乳中の方、運動前、入浴前、入浴中などの飲酒はやめる
6. 週2日は、飲酒をやめ休肝日を設ける

公益社団法人千葉県栄養士会

会長 長谷川 克己

